

生産設備の老朽化を直接の原因とする災害事例（平成19年～平成28年）

| 発生年月 | 災害が発生した事業場の業種 | 老朽化していた設備 | 災害の概要 | 死傷者数 括弧内は死亡者数で内数 |
|---------|---------------|------------------|---|---------------------|
| H28. 1 | 鉄鋼業 | クレーン運転室の床と通路 | 屋外に設置されている天井クレーンの電気設備の保守を行っていた際、クレーン運転室に入ろうとしたところ、一体となっていた運転室の床と通路が傾き、約20m下の地面に墜落したものの。 | 1（1） |
| H27. 11 | 鉄鋼業 | 点検通路 | 製鉄所のベルトコンベアのスカート側板取替工事のため準備していた側板（約25kg）を作業員2名で持って移動していたところ、点検通路を踏み抜き、約6m下に墜落したものの。 | 1（0） |
| H27. 10 | 鉄鋼業 | 通路のデッキ | 設備の軸受給脂作業を労働者4名で行っていたところ、通路のデッキが腐食により傾き、1.3m下方に転落したものの。 | 4（0） |
| H26. 12 | 採石業 | コンベア（スチール製メッシュ床） | 被災者が高さ約5メートルの箇所において、コンベアの清掃作業を行っていたところ、作業していたスチール製メッシュ床が経年劣化により損傷し、幅40cm×長さ33～63cmの穴が開いており、その穴から墜落したものの。 | 1（1） |
| H23. 8 | 鉄鋼業 | 塩酸タンク | 製鋼所内の塩酸の入ったタンクの配管を移設作業中、配管の切断位置を確認するためタンクの上へ乗ったところ、タンク天板が抜けて、タンク内部に転落したものの。 また、タンク上のマンホール部から同僚が救助を試みるも、マンホールごと抜けてしまい、同僚もタンク内部へ転落したものの。 | 2（2） |
| H23. 4 | セメント・同製品製造業 | 踊り場（金属製） | 生コン製造プラントのメンテナンス中、プラント建屋屋上からバケットエレベーターに向かう途中の通路の金属製踊り場が腐食していたため、被災者が金属製踊り場に乘った際に床面を踏み抜き、地上まで約10m墜落したものの。 | 1（1） |
| H22. 12 | 機械器具製造業 | 鋼鉄製シャッター | 工場出入口の鋼鉄製大型シャッターのワイヤロープが経年劣化により切断し、自重によりシャッターが落下、シャッターと地面の間に挟まれたものの。 | 1（1） |
| H21. 6 | 土石製品製造業 | ベルトコンベア | 細砂運搬用のベルトコンベアを解体するため、コンベア上でガス溶断作業を行っていたところ、コンベアの支柱を固定していたボルトが老朽化していたため、支柱が倒壊し、約8.5m下に落下したものの。 | 1（1） |
| H20. 10 | 石油製品・石炭製品製造業 | 屋根（コーンルーフトank） | 被災者は、軽油貯蔵タンクの消防法に基づく年2回の定期点検を単独で開始し、屋根（コーンルーフトank、固定タイプ）に乗ったところ、軽油中の硫化水素等により屋根内部が腐食しており、屋根全体が非常に薄くなっていたため踏み抜き墜落し、溺死したものの。 | 1（1） |
| H19. 11 | 石油製品・石炭製品製造業 | 通路（鉄板） | 脱硫設備コンベアのプーリーの取り外し作業を終え地上に降りようとした際、コンベア横の通路の鉄板が腐食していたため、腐食箇所に歩み板を敷き終え、当該通路を歩いていたところ、通路の別の箇所の鉄板が腐食していたため、その鉄板を踏み抜き、地上約30mの高さから墜落したものの。 | 1（1） |
| H19. 10 | パルプ・紙・紙加工品製造業 | 汚水槽の覆い | パルプ工場の汚水処理施設において汚水槽の覆いの交換作業をするため、覆いの上で撤去準備作業を行っていたところ、腐食していた覆いが折れて汚水槽へ墜落したものの。 | 1（1） |
| H19. 9 | 鉄鋼業 | 落鉱防止用鉄板 | 高炉ベルトコンベアからの鉱石等に係る落鉱防止用鉄板の上で清掃作業を行っていたところ、腐食していた鉄板の一部が抜け、約19m下方のデッキに墜落したものの。 | 1（1） |